名蹟紹介

院 を收る

橋 逸勢 (?~842)

▼伊都内親王願文

「伊都内親王願文」は逸勢の書として伝承されている名作である。 恒武天皇の第八皇女伊都内親王が 山階寺(今の興福寺)の東院西堂 に寄進された時の願文。運筆のリ ズム感が大変豊かで、筆を自在に あやつる能力は古今に冠絶してい ます。格調の高い、日本独特の書 美の世界を表現している。

蔭列幄八禅平子即 身百神斯衛万福 (蔭を承け、 列告 幄、 八禅たらん。平子、 即身にして、 百神斯れ衛り、 万福〈毎に臻り、〉)

でしょう。 書線は独自の世界を持っています。ただ少々癖のある横画や右払いは、 「願文」は50歳前後の筆といわれ、書技円熟の境で字形は全般的に縦長で右肩上がり、骨力に満ちた 作者の情感の表れと解釈すべき

(福を徼む。幸福を得んと希望する。)

徼福

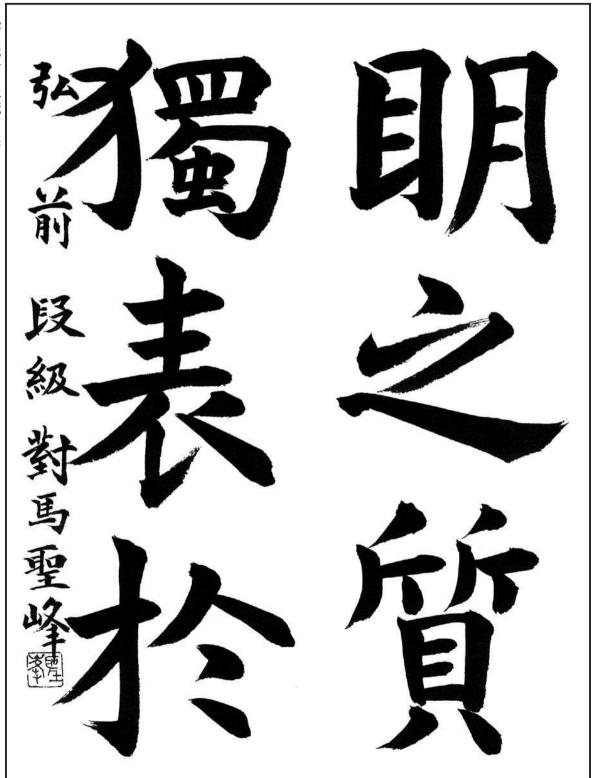


 $(68 \times 35 cm)$

感じました。 がる精神性の高いものへの憧れを一層強くがる精神性の高いものへの憧れを一層強くにつない。 臨書の最後の一字、「福」を生かした作品

 $(136 \times 35 cm)$

※出品段級位(漢字半紙部 新級~正師範)



褚遂良



明 日は目になり、5画目は右上へはらう。 線もすっきりと。 横の間隔を等しく、 月は縦画を背勢強 内部の余白を広

之 方にも気を配る。 全体に横広にまとめる。 く見せる工夫を。 最終画はしだいに筆圧を加え、公める。各画の方向に注意し、余

余白のとり

はらいは

貝は位置に留意し、

左右に余

所は横広にし、上部に置く。 太く短く。

偏の幅を狭く、旁を広くする。偏は左はらいの方向の変化 白を残す。全体にバランスに気を配ってまとめる。

をよく見て。旁の匈の部分は右下がりにつくる。 全体に縦長に引き締まった形にまとめる。 上部横画は右上

偏は幅を狭く、 最終画終筆は止める。 横画は左側を長くする。 旁は余白のとり方

きりっとした線で。下部は各画の方向に

注意

質 獨 がりを強く、

に注意し、 ゆったりと。



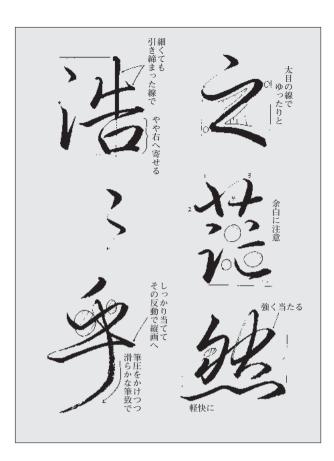
原

帖

(明之質獨表於) (賢)明の質、 独り(仙才に)表わる。

※出品段級位(漢字半紙部 新級~正師範)





之 に気を配る。 下部に重心を置き、 筆圧の変化に留意する。 余白のとり方

芝 を考えて配置し、 #は筆順に注意し、筆圧をかける。 **辻**は上部とのバランス 余白に注意し明るく。

然 める。〜は軽快な運筆で、除々に太くする。
・・
・・
・・はほぼ一筆で書くので、細部筆の動きをよく見て引きし

くても引き締まった張りのある線で。口はやや右へ置く。 全体に太細の変化をつけてメリハリを出す。旁の上部は細

浩

4 位置に注意し、点の大小と方向に変化をつける。

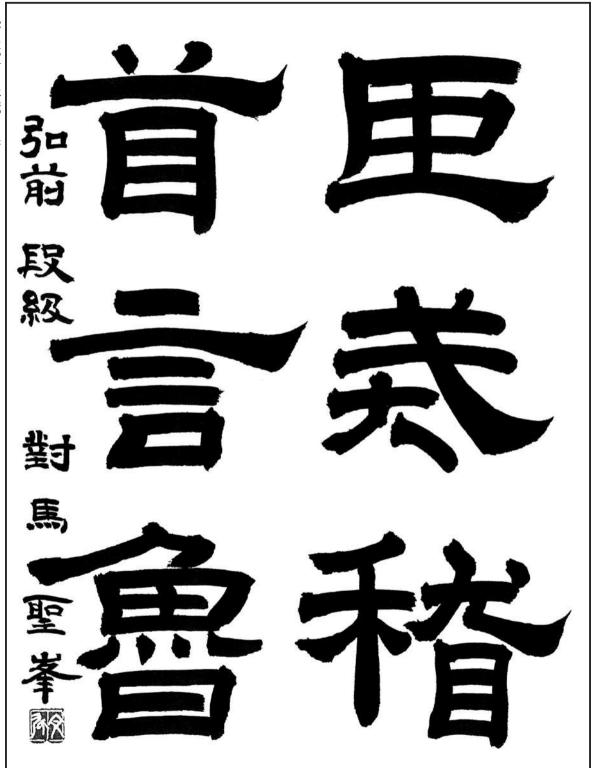
筆致で。 とり方にも留意する。最終画は筆圧をかけつつ、滑らかな 全体に縦長にまとめる。左右の動きをはっきりと、余白の

原 帖



[之茫然浩々乎] (萬頃)の茫然たるを(凌ぐ)。浩々乎

※出品段級位(漢字半紙部 新級~正師範)





原 帖

[臣戒稽首言魯]

臣 くする。最終画は孤を描いてカーブし、1画目は軽くうねる感じに。余白は左側 余白は左側を狭く、 波磔は重厚に。 右側を広

右はらいは方向に気を配り、 筆順に注意(骨法参照)。 横画の始筆の位置は少しずつ左に。 しだい に筆圧を加える。

戒

偏と旁が上下にずれる形に。 し上げる感じに。旁は尤の部分を横広にまとめる。 偏の1・4 画目左はらい は 押

稽

首 全体に中心に留意してまとめる。 充分な筆圧をかけて太く。 3画目は角度に注意して 目は横の間隔を等しく。

終筆は重厚に鋭くはらう。横画の間隔に注意し、2両 2 画目を張りのある線で長く見せて、 口はやや右に重心を置く。

画を強く絞る。■は上との位置をよく見てずれないように。1画目は横方向に筆圧をかけて押し上げる。田は右側の縦



10



※出品段級位(調和体部 新級~正師範)

使用筆(からまつ)・使用紙(調和体用紙)・使用墨(書芸呉竹(固型))

読み― 薬なので白菜は外側の葉を何枚か -梅の花がほころび始めました畑で採 取ってからお召し上がりください れた野菜をお裾分けします無農

(◎印墨つぎ)

※弘前の部分には**支部名**を書く

日本教育普道会

漢 字 条 幅 臨 課 題

※出品段級位(新級~正師範)

▼王羲之 (集字聖教序)

王羲之のものでした。 以前の私文通によっても移入は行われていたと伝えられています。 に模倣がくり返されました。 それを真似ようと努力いたしました。当時舶来されたものは、 れにしても、当時の人たちはこの珍しい文化に興味をもって、 王仁が千字文を伝えたことが史実の上では初めてのようですが、 奈良朝時代に仏教の伝来とともに中国から漢字が移入されました。 羲之と書いて手師と読ませるほど羲之の書を中心 ひたすら 主として それ

を受けています 橘逸勢) はじめとする私たちの祖先は、 日本でも平安朝時代、 三蹟 (小野道風・藤原佐理・ 書き手のトップクラス三筆 全てと言っても過言ではなく羲之の影響 藤原行成~特に仮名に優れる) (空海 嵯峨天皇 を

> 0年経った今でも「書聖」と呼ばれるゆえんでしょう。 じとってはじめて美が成立する。 に美が成立する。このことは、王羲之の書にとことん美を感じ、 美は対象だけで決まるものでなく、 つまり対象と観者とが融合するところ それを観る人のこころがそれを感

凝 II

遵 II



顯◎ 運 百 福 電石長⊝ 妙道凝玄 遵之莫知 其際 (◎印は墨つぎ

使用筆(神技北斗)・使用紙

注 意

支部名・段級位・氏名は鉛筆で左下に記入下さいの人は新とお書き下さい。

読 み ー -現れているようでもあり、 凝縮され、これを追おうとしてもその果てを知ることはできない。 頭わるるが(若く)、 百福を運らして今に長ず。妙道は凝玄にして、之に遵いても其の際を知ること莫し。 あらゆる至福を運びめぐらせて今の世に続いている。神妙なる道は奥深く

> 切(約136×約35センチ) 半切検定課題原寸大手本 500円で販売しております。 半

(漢字条幅用紙半切・華心箋) 部門の段級位をご記入下さい。なお、初めて出品漢字半紙部門と段級位は異なりますので漢字条幅 使用墨(黒耀 〈固型〉 置

読み一遠近に菜の花咲きて朝日さす榛の木がくれ人畑を打つ

意味―遠くにも近くにも菜の花が咲いて、

朝の日が射している向うの榛の木の陰に、

人が畑を打っているのが眺められる。

鉛筆で左下に記入下さい。注意→支部名・段級位・氏名は

(正岡子規)

(◎は墨つぎ)

使用筆(南風)・使用紙

※19ページに解説があります。

(かな用料紙)・使用墨(天衣無縫〈固型〉)

17

か な 条 幅 課 題

※出品段級位(新級~正師範)かな条幅部

こでこれらを解決するために字形の大小・長短・広狭などの組み合わせを考え ら左に引く線の指向性によって行が左に傾斜しているように見えてきます。そ ! なの特徴でもある連綿は続けば続くだけ、 斜線がうるさく見え、また右 か

ながら、

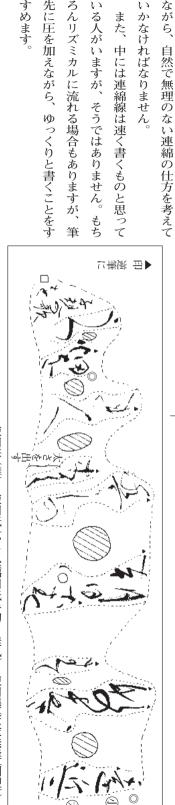
13

かなければなりません。

また、

の場合、 山場である中央部上部の文字を大きく表現し、 い字を配することが多いです。Instagram@sanjukana_ 『漢字かな混じり文ですと、かなを漢字より小さくが定石ですが、 山場でかなを大きくすることもあり、 特に、 下部は比較的小さい字、 かな横作品に於いては かな作品 背の低

(『 』内は湯川三壽先生より



使 開筆 雅 使 崩 紙 かか な条幅用紙半切 桂風)・ 使 |用墨 (天衣無縫 固 型

すめます。

先に圧を加えながら、

ろんリズミカルに流れる場合もありますが、

(◎含墨)

湯川三壽先生書

段級位をご記入下さい。なお、初めて出品の人は折いかな半紙部門と段級位は異なりますのでかな条幅部門 書き不さい。 支部名・段級位・ 氏名は鉛筆で左下に記入下さい 初めて出品の人は新とおりますのでかな条幅部門の

注 意

読み

遠くにも近くにも菜の花が咲いて、朝の日が射している向うの榛の木の陰に、人が畑を打っているのが眺められる。

遠近に菜の花咲きて朝日さす榛の木がくれ人畑を打つ(正岡子規)

〔遠近

那の花さ支て朝日佐春盤

んの木可く連人畑をうつ

子規の歌を

18

半

切

(約136×約35センチ)

半切検定課題原寸大手本 500円で販売しております

5月号		ペン権	背書 課 題		景秀書	
5月号 名 支学 年 位 初めての人は新と書く 名		*** 愚か者のやること	き追い求めるのは	打ち捨てて		
	シオドス	だ				(オールペン 0.・碩筆 月紀 6 行 使 月)

※課題執筆と同じペンを本会で取扱っております 定価110円

三浦景秀書

確かなことを

5月号

支 部 名

学 年	(E)	\ \ \ \ \	جبر	L —
	馬	追	不	15
	100	1)	7/2	5
	7) 1	12	M/3	5
	老	水	カン	捡
	/(Z)	bh	12	10
<u>段級位</u>	0)	α	4	7
初めての人は新と書く	P	3	\(\)	Ĵ
材と書く	\		×	(
	5		2	
氏 名	9/	11	2	
	2			
	ナジ			
7	1			
トス				

ペン行書課題(ペン部)

(ボールペン0・硬筆用紙6行使用)

※課題執筆と同じペンを本会で取扱っております 定価110円

5月号 ペン手紙課題(ペン部) 三浦景秀書
(家校のではままりではまかではまかりました) 一個で様々ではまますがらお召しるがり下さい。 「おお取ってからお召しるがり下さい。 「おお取ってからお召しるがありました。 「日本での信息がある。 「日本での信息がある。」 「日本でのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでの

※課題執筆と同じペンを本会で取扱っております 定価275円

25

楷

書

課

題

行

書

課

題

























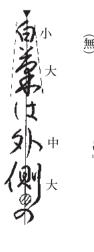






方向を変えて









手紙課題